

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	石川県	事業実施主体	石川県、能登町	地域再生計画名	「いいこといっぱい夢ある能登町」再生計画
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	能登町建設課長 小島 忠浩 能登町農林水産課長 五田 秀綱		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標 1	指標 2	基準年度	基準年度	年度	中間実績	基準年度	基準年度			
	指標 1	道路ネットワーク改善による住環境改善に伴う転入人口の増加	320人	H17'25	370人	H29	440人	390人	H31	○	効率的に町道整備を推進することができ、目標値を達成できる見込みである。
	指標 2	林業振興による森林の機能保全（間伐面積の向上）	9ha	H26	13ha	H29	51ha	16ha	H31	○	林道整備と町道整備を一体的に行い、森林整備の利便性向上が図られたことにより、目標値を達成できる見込みである。
	指標 3	農林業宿泊体験施設におけるグリーン・ツーリズム体験者数の増加（農林業宿泊体験施設利用者数）	700人	H25	820人	H29	10,641人	900人	H31	○	町道と林道の一体的な道路ネットワーク網が形成され、体験施設が位置する「春蘭の里」の活況と相俟って、町内外の交流人口の増加が図られたことにより目標値を達成できる見込みである。

②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1										
	指標 2										

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度 (H29)	最終実績 見込み	
特別措置を適用して行う事業	道整備交付金事業	17.98km	7.60km	15.47km	今回の整備により主要施設へのアクセス性および道路ネットワークの構築が促進され、目標値についてはすべて達成できている。一方、整備量について現状では、予定箇所まで整備できない可能性があるが、目標達成に向け計画に則した整備を目指す。
	林道開設事業	1.50km	0.92km	1.50km	林道整備により今まで林業施策が困難だった地域について、アクセス改善が図られたことにより、間伐実施面積の増が図られた。引き続き事業を行うことで、さらなる改善を図りたい。
その他の事業					
計画外で独自に実施した事業	公益信託能登町エンデバーファンド21				住民主体の魅力的なまちづくりを推進するため、環境保全等まちづくり活動の調査企画・活動・交流会等に対して、取り組み団体等に助成する
	過疎地域自立促進市町村計画				まちづくり活動に取り組むグループ等に対し、その企画内容に応じて助成を行うことで、地域の振興やまちづくり活動の活性化が図られたことにより、転入人口やグリーン・ツーリズム体験者数増加に寄与している。
	能登町里山「木の駅」プロジェクト				過疎地域に指定された市町村が、地域の自立促進を図るため必要な事業計画を策定し、国の承認後、目的達成のための事業を行うための計画
	ふるさと定住住宅助成金				放置材や間伐材などを地域通貨で買い取り、森林整備と地域活性化を目指す事業
	能登町まちづくり合宿等助成金				U・Iターン者の住宅新築、中古住宅の改築費用の一部を助成し定住促進を図る
					地域にある間伐材や林地残材といった有効活用されていない森林資源を、山林所有者や森林ボランティアが「木の駅」に出荷し、地域通貨を対価として得ることで、森づくりと地域活性化を図っていることが、間伐面積の向上につながっている。
					能登町への移住・定住を促進し、地域の活性化を図るため、Uターン、Iターン者の新築住宅及び中古住宅等の改築に要する経費の一部を助成していることが、転入人口の増加につながっている。
					交流人口の拡大と活性化を図るため、町内の宿泊施設を利用する学生の団体に対して、助成を行う
					交流人口の拡大を図り、地域の活性化に資することを目的に、町内の宿泊施設を利用し、一定期間以上町内に滞在する学生の団体に対し、助成金を交付することで、地域再生につなげている。農家民宿を利用する団体にも助成されており、農林業宿泊体験施設利用者数増加の要因となっている。

④評価方法	道整備評価検討グループ会議を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。
-------	---

⑤中間評価の公表方法	能登町のホームページに掲載
------------	---------------

⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用して基幹町道の集中整備や林道を整備することにより、効率的な道路ネットワークの構築が図られ、山間部での林業振興や観光・交流人口の増により、転入人口や森林間伐面積及びグリーン・ツーリズム体験者数の増などの効果を発現できていると考えている。
------------	--

⑦今後の方針等	本計画ではアクセス改善や森林整備事業が促進され、関連する事業を行った結果、転入人口の増加、森林の間伐面積向上等も含め目標達成が見込まれる。また、グリーン・ツーリズム体験者数については、民間の誘致活動との相乗効果により、修学旅行の受け入れ等で大幅な増加となった。引き続き本地域再生計画に沿って事業を推進し、更なる地域の活性化を図りたい。
---------	---